

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	分野別応用知識		授業形態 / 必選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	1988年よりライブハウス「エッグプラント」のPAオペレーターとして活躍。 同店閉店後、フリーランスとして「Boredoms」、「S×O×B」などの専属オペレーターとして活動。 「SUMMER SONIC」や「FUJI ROCK」、「Rising Sun」など、大規模フェスでもオペレーターとして携わり、インディーズレーベル「Tag Rag Records」の主宰や、シリーズイベント「Tag Rag Nite」の実施など、多方面での活動を展開。 また、2007年にはメンバーとして参加した「Vermilion Sands」のアルバム「Reverb Overdub」をavexよりリリースする。				
授業概要					
著作物の定義・著作権の権利及び著作隣接権についてテキスト形式で進めていく講義授業 また、HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権に関わる企業・団体を理解する。</li> <li>・著作権の働きが理解できるようになる。</li> <li>・印税の仕組み・金額・著作権保護の条件や重要性が理解できる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	知的財産についての理解、著作物の定義・種類・権利の内容
【前期】 5～8回目	著作隣接権・支分権について
【前期】 9～12回目	映像素材試聴(違法コピーと著作権の保護期間延長について)、作文提出
【前期】 13～16回目	プロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	JASRACの役割、使用料徴収に関する作文提出
【後期】 24～27回目	印税収入の計算方法
【後期】 28～31回目	CD以外の著作権使用料 インタラクティブ配信、放送、カラオケ、演奏、レンタル等
【後期】 32～35回目	著作物の自由利用の範囲、権利侵害と罰則
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 また、音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
使用教科書	テキスト配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	分野別基礎実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	111回(222単位時間)	年間単位数	7単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験23年 大阪芸術大学を卒業後、大阪のレコーディング・ライブハウス・リハーサル複合のスタジオ、フリーピープルにてエンジニアとして勤務。その後、大阪を中心にライブハウス・キングコブラなどでPAや、フリーでレコーディングの音響エンジニアをしている。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>Pro Tools における編集、ミキシング技術の習得。</li> <li>1年次より高度な編集技術を学び、実践に活かせるようになる。</li> <li>Macを使用した Pro Tools における編集、操作技術を習得し、録音現場で実用できるようになる。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>Pro Tools での録音後を想定した様々な編集法の習得。</li> <li>トラブルシューティングやMac, Pro Toolsにおける細かい設定法や、それに伴う知識を習得し、実践に活かせるようになる。</li> <li>Mac PC, Pro Toolsの基本的な構造や使い方の理解。波形編集やそれに伴うショートカットキーの暗記。ショートカットキーを使用した波形編集技術の習得。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～12回目	テンポ検出、オーディオファイルの書き換えとプレイリスト表示、オートメーション、クリップゲイン
【前期】 13～24回目	マルチトラックの編集、時間操作
【前期】 25～36回目	エクスポート方法、各種環境設定
【前期】 37～48回目	前期復習
【前期】 49～57回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 58～69回目	VCAマスター、エラスティックオーディオ、編集作業
【後期】 70～81回目	楽曲エディット、作品提出
【後期】 82～93回目	データの整理、エディット練習
【後期】 94～105回目	曲尺の調整、総復習
【後期】 106～111回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	現場でスピード作業が求められるProTools操作を、この授業内で徹底的に学ぶことでレコーディングエンジニアとして必要なスキルを習得します。また4～5週で1曲を仕上げるスピードで授業を進め、時間内で仕上げるという意識をつけます。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を、最初の授業で配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	分野別応用実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:24年 Studio LubLab所属のレコーディングエンジニア。 代表作として、渋谷すばる・二階堂ふみ出演の映画「味園ユニバース」に出演の赤犬、また二階堂和美・小泉今日子・SAKEROCKライブDVD、N'夙川BOYSなどがある。また、近年ではスタジオジブリ「かぐや姫の物語」主題歌の録音を担当。				
授業概要					
講師エンジニア、講師ミュージシャン、学生ミュージシャンとの録音実習を通し、実作業を生徒自身で行い作業工程を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各収録において適切な機器を選択し収録出来るようになる。</li> <li>録音に必要な信号の流れを組むことが出来る。</li> <li>講師の意見がなくても、自分たちでレコーディングを進めていけるようになる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオ機材解説、パッチワーク、アウトボード機材の使用方法
【前期】 9～16回目	Vo学生参加 Voレコーディング～ピッチ修正
【前期】 17～24回目	講師参加 アコギレコーディング、
【前期】 25～32回目	SSW学生参加 弾き語りレコーディング～ミックス
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	講師バンドレコーディング
【後期】 47～54回目	ホーン、ストリングスレコーディング
【後期】 55～62回目	Voレコーディング
【後期】 63～70回目	ステムミックスの使用方法、MIX作業
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオでの業務に沿って、実際にアーティストの方に参加してもらって自分たちでレコーディングのオペレートを行ったり、ボーカルトラックの編集などを学んでもらいます。 楽器演奏者の方に参加してもらいながらバンド形式で録音してミックスを行うことで、より現場に近い業務を授業内で行います。
使用教科書	項目毎にテキストプリントを配布。プリントがない場合もあり。

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	PA実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA / PA&レコーディング / 照明&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験33年 株式会社TOP GEAR代表取締役。 関西を中心にライブハウス等での経験を活かし、Anthony Jackson、Victor Wooten、長瀬剛等のツアーに参加。 数々の夏フェスやRADIO CRAZY等にもスタッフ参加。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール音響システムの理解</li> <li>・仕込み～音の作り方を学ぶ</li> <li>・技術の習得だけではなく、チームワークやコミュニケーション能力も養うことで現場で通用する人材を育成する</li> </ul>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル卓(DiGiCo/SD7、YAMAHA/QL5)の使用方法を習得する。</li> <li>・仕込み～チェックの反復練習による技術習得</li> <li>・チューニングの基礎習得</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ホールシステム説明、音響卓の使い方
【前期】 9～16回目	バンドセットの仕込み
【前期】 17～24回目	チューニング練習
【前期】 25～32回目	仕込み～チューニング～チェック
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	チューニング練習、ワイヤレスマイク
【後期】 47～54回目	バンドセット仕込み、転換作業①
【後期】 55～62回目	バンドセット仕込み、転換作業②
【後期】 63～70回目	バンドセット仕込み、音作り、WAVESの使い方
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	PA卓のDiGiCo/SD7の使い方を学んでいきます。 また、モニター卓を分岐してのセットアップなども学んでいきますので覚えることがたくさんあると思いますが、わからないことは何でも聞いて吸収してください。
使用教科書	なし

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	照明実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ 照明 / 照明&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験12年。 ライブハウスを中心に、舞台照明エンジニアとしてキャリアを積み重ねる。ディーライブ株式会社「京橋BERONICA」へ入社後、チーフエンジニアとして活躍。現在、梅田amHALLでチーフエンジニアとして携わりながら、様々な現場で活躍中。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールを使用しての実習授業</li> <li>・本番を想定しての実習で現場に強い人材を育成する。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GrandMA、AVOLITEの基本操作</li> <li>・LEDバー、MAC AURA、VLを取り入れた演出方法の習得</li> <li>・情報に基づいて図面の作成、オペレート～バラシの一連の流れを理解する</li> <li>・チームワークの大切さを学ぶ</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ホール内システム説明、仕込み～バラシ
【前期】 9～16回目	LEDムービング等を使用しての仕込み～バラシまで
【前期】 17～24回目	テーマに基づき、グループで図面作成～バラシ仕込み
【前期】 25～32回目	ライブウィークシミュレーション、打ち込み
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	ファッションショー、展示会での照明演出
【後期】 47～54回目	タレント系コースと合同でのダンス・芝居の照明
【後期】 55～62回目	ライブウィークシミュレーション、打ち込み
【後期】 63～70回目	複数バンドのライブ照明演出
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10%</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	1年次で学んだ基礎を元に各クラスで様々な催し物に合わせた仕込み～オペレートを学んでいきます。 わからないこと、知りたいことはなんでも聞いてください。
使用教科書	随時図面などを配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	イベント制作実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験8年 自身もアーティストとして活動しながら大阪ライブハウスにて勤務。その後、心齋橋にライブハウス『歌う魚』を立ち上げインディーズアーティストのレーベル業務も行う。大阪堀江一帯のライブサーキットや心齋橋を中心としたライブサーキットの制作も行う。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内でイベント企画、実施をすることで、必要書類作成や打ち合わせ、予算申請・収支決算までを行っていく。</li> <li>クラスで役割分担しながら行うことで、チームワークに必要な協調性やコミュニケーション能力を養っていく。</li> </ul>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各々が立休案を持ち、イベント制作に参加する。</li> <li>企画書が作成出来る。プレゼンが出来る。</li> <li>チームで制作し目標を設定し達成/非達成を検証する。</li> <li>イベントの一連の流れを把握し、自分たちで運営が出来る。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	夏季フリーイベント企画立案
【前期】 9～16回目	夏季フリーイベント会場選定
【前期】 17～24回目	夏季フリーイベント内容制作
【前期】 25～32回目	夏季フリーイベント本番、報告書作成
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	卒業制作企画① グランドスケジュール、出演アーティストブッキングリストアップ
【後期】 47～54回目	卒業制作② 会場手配、資料作成、アーティストブッキング
【後期】 55～62回目	卒業制作③ 会場マニュアル作成、オリジナルコンテンツ準備
【後期】 63～70回目	卒業制作④ 会場マニュアル作成
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	2年生ではフリーイベント、サーキットイベントなどを主に制作していきます。 企画書作成、プレゼン、イベント対応、報告書作成などイベントに関する一連の流れを学んでいきます。 1年生の頃よりも、よりいっそう素晴らしいイベントと一緒に創りあげましょう！
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	ローディー実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 ■ ローディー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験18年 大阪芸大音楽学科卒業後上京し当時全国ツアーを行うPUNK ROCK BANDのスタッフとして働く。 有限会社BACKLINE 江守徹氏に師事。soweluツアーに同行 ローディー業務の基礎を学ぶ。 girugameshを始めとする数々のv系バンドのローディーを担当。数々のフェスにスタッフとして参加(FUJI ROCK FESTIVAL、SUMMER SONIC、LOUD PARK、ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN等)ギターアンプメーカー PeaveyのA&Rとしても活躍中。				
授業概要	<p>・1年次で学んだ楽器の知識を応用し、様々なセッティング方法を学ぶ。 また、KEMPERなど近年よく使用されているアンプの使い方を学び、様々な現場に対応できるローディーを育てる。</p>				
到達目標	<p>・ドラムの適切なチューニングができるようになる。 ・各アンプの詳しい使い方を理解する。 ・エフェクターの踏み替えや弦交換などギターテックについての技術を習得する。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ドラムチューニング、外部イベント機材準備
【前期】 9～16回目	各メーカーギターアンプの使い方
【前期】 17～24回目	KEMPERの基本的な使い方
【前期】 25～32回目	KEMPERの使い方(応用)
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	外部イベント楽器打ち合わせ、イベント参加
【後期】 47～54回目	エフェクターの踏み替え、ギターチェンジ
【後期】 55～62回目	エフェクターを使用しての音作り
【後期】 63～70回目	ギターテックについての応用
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ローディーとして音楽業界で活躍する上での基本的な知識や、機材の使い方を理解する。 楽器の扱い方を理解し、現場などで積極的に動き、活躍出来るようになります。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	DAWミキシング実習		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング /レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験23年 大阪芸術大学を卒業後、大阪のレコーディング・ライブハウス・リハーサル複合のスタジオ、フリーピープルにてエンジニアとして勤務。その後、大阪を中心にライブハウス・キングコブラなどでPAや、フリーでレコーディングの音響エンジニアをしている。				
<b>授業概要</b>					
・DAWを使用したミックスの作業を中心に行い、重要性の理解と楽曲のサウンドの完成度を上げていく授業です。オートメーションなどを駆使して、楽曲の表現力を高めるノウハウを身に付けていきます。					
<b>到達目標</b>					
・音量バランスの調整や定位の調整、EQなどの補正など、基本的なミックスの成り立ちを身につけることができる。 ・コンプレッサーやエフェクターの使い方を習得することができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	課題曲①に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 9～16回目	課題①提出。 課題曲②に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 17～24回目	課題②提出。 課題曲③に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 25～32回目	課題③提出。 前期復習
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	課題曲④に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【後期】 47～54回目	課題④提出。 課題曲⑤に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【後期】 55～62回目	課題⑤提出。 課題曲⑥に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【後期】 63～70回目	課題⑥提出。 テスト提出用ミックス作成
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	基本的なミックスのノウハウを学んでいきます。 特に理解の難しいコンプレッサーの使用法や効果、 ヴォーカルの編集やピッチ修正のノウハウはきちんと身につけておいたほうが良いでしょう。 後期は学生の演奏などの「アマチュア音源」を使用して、編集やピッチ修正を駆使してミックスの完成度を上げていきます。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布



# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	マネージメント実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ マネージャー・レコードメーカー / ヘアメイクアーティスト				
担当講師	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル"RIMEOUT RECORDINGS"を立ち上げ、CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。				
授業概要					
<p>・1年次で学んだ基礎を活かし、さらに実践を意識したアーティストグッズの企画やプレゼンテーションを行う授業内容です。後期ではプロダクションやレーベルの研究も行い、経営に対する知識も深めていきます。</p>					
到達目標					
<p>・企画書、紙資料、プロモーションツールなどを独力で作成できるようにする。          ・マネージャー、レコード会社スタッフとしての基本的な発想や実務的な作業能力を身に付ける。          ・様々な資料制作作業を通じて論理的な発想に慣れる。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	アーティストグッズ研究① 市場調査・値段設定
【前期】 9～16回目	アーティストグッズ研究② 企画書作成
【前期】 17～24回目	アーティストグッズ研究③ 企画書作成、閲覧会、検証
【前期】 25～32回目	エンターテインメント業界研究
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	ヒット曲歌詞研究 楽曲・アレンジの検証
【後期】 47～54回目	エンタメ市場調査① 調査準備・結果分析・発表
【後期】 55～62回目	エンタメ市場調査② 調査結果を使用した宣伝活動
【後期】 63～70回目	音楽ベンチャー研究 レーベル・プロダクションの仕組み
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	自分が持っている知識や企画力も実務的な能力と経験値がないと意味がありません。 この授業を通じて実際に仕事で使える実務力とスキルを身に付けましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	MA実習		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験 29年 国体などの公共イベント用楽曲の提供。また、造形作家 伊部京子氏をはじめとした造形作家達とのインストレーション用楽曲の提供を行う。 2002年よりキルアフィルム(ルーカス・フィルムLLC)にてサウンド・デザイン及びサウンド・ポストプロダクションに従事。 その後、株式会社ブーストラックを設立(専務取締役)し、アーティストのプロデュース等を行う。				
授業概要	個別ブース/個別PCでのProTools作業が基本となり、各項目ごとに作品を講師に提出し、個別に添削及びコメントを受けることで、各作業技術のスキルアップを目指します。 また、声優科との卒業制作作品のオフライン編集作業等を行い、実践的な作業を行います。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ProToolsソフトウェアのショートカット等、効率的な作業技術の習得</li> <li>・声優科との卒業制作作品の編集作業及びオーサリングまでを習得</li> <li>・サウンドポストプロダクションにおける応用的なオーディオスイートニング技術の習得</li> <li>・サーバー上のサウンドライブラリ(SE/ME)より制作に必要な素材を的確且つ迅速に選定することが出来る能力の習得</li> <li>・シンセサイザー等を用いてSE等を自分で創作することが出来る技術の習得</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	CM系オーディオスイートニング
【前期】 5～8回目	VP系映像① ナレーションの基本処理、MEの選定、ロケ音声の再構成法
【前期】 9～12回目	VP系映像② モノラル/ステレオ各方式、VP系映像のMA作業
【前期】 13～16回目	バラエティ系番組① ガンマイク・ピンマイクの特性、テロップSEの作成等
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	バラエティ系番組② テロップSEの作成、ジングルの選定方法
【後期】 24～27回目	卒業制作作品の編集① スケジュール、アニメーションのシーン割当て、サウンドトラックの編集方法
【後期】 28～31回目	卒業制作作品の編集② 音楽・SE及び台詞のレベルバランス、特殊加工
【後期】 32～35回目	卒業制作作品の編集③ 最終調整とオーサリング
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	この授業では主にデータ編集の方法を中心に学び、時間のかかる作業を数週に渡って学んでいくという流れになります。 就職した際に現場で困らぬように編集スピードアップを心がけて、早くデータ納品できるようになるための心構えを忘れずに授業に参加してください。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を、ガイダンスあるいは1回目の授業で配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	メンテナンス&リペア実習		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 ■ ローディー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験14年 高校卒業後すぐに楽器店にてエレキギター講師を務める。その楽器店の影響もあり、この頃よりクラフトや修理に興味を持ち始め、木工、塗装、電気などを学ぶ。 2007年頃より個人で楽器店や知り合いからの修理依頼などを受けるようになり、 2010年大阪日本橋でギター工房を開業。プロアマチュア問わず様々なニーズに対応。 現在は、ギター製作修理のほかにも、エフェクター、各種アンプ、PA・Rec機器の製作修理も行う。				
授業概要	ギター、ベース、ドラム、アンプ、エフェクターなどの知識、構造を学び、リペア、メンテナンス技術を得ることにより、ミュージシャン、ローディー会社、現場で関わる他業種からの信頼を得られるローディーを目指す。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リペア、メンテナンス時に必要なドライバー、各レンチ類などの手工具、はんだ付け、電動ドリルなどの電動工具を正しく扱えるようになる。</li> <li>・音のピッチ・長さ・ニュアンスなどを学び音に対する感度を上げることで、各楽器の調整時により積極的に狙った音に詰めていけるようになる。</li> <li>・ピッチを正しく理解することで、弦楽器だけでなく打楽器のチューニングも行えるようになる。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	工具の使い方、ギター・ベースの弦交換・チューニング
【前期】 5～8回目	ネック調整、弦高調整、オクターブ調整
【前期】 9～12回目	ナットの交換
【前期】 13～16回目	塗装、電気系統の修理技術
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	ミニアンプ作成
【後期】 24～27回目	エフェクターの修理
【後期】 28～31回目	フレット交換
【後期】 32～35回目	フレットすりあわせ、ペグ・ブリッジ等プレート類のハードウェア
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10%</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	ローディーとして必要な楽器の知識、リペア、メンテナンスに必要な技術を身につける。 ギター、ベース、ドラム、アンプ、エフェクターなどの知識、構造を学び、リペア、メンテナンス技術を得ることにより、ミュージシャン、ローディー会社、現場で関わる他業種からの信頼を得られるローディーを目指していきましょう
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	デザインワーク実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ ファンクラブ/デザイン				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:34年。 主に電器・通信関係を中心とした販売促進ツール(ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット)、パッケージ・広告等、書籍のレイアウト、装丁、またCDジャケットやポスター、フライヤー、グッズ、広告等の音楽関係の制作物を数多く手掛ける。				
授業概要					
DTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術、デザインの知識を学びます。 特にAdobe Photoshop(以下、フォトショップと称する)の操作方法も検定スタンダードレベルを目標に学習していき、後期からはAdobe Illustratorも併用して、印刷用原稿制作形式の実習課題を行い、操作方法を理解し、別授業のアーティストデベロップメントと連携し発注・入稿・印刷までを実践する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストレーター、フォトショップを活用し、指示通りの作業を正確かつ合理的に行う事ができる。</li> <li>・イラストレーター、フォトショップを使用して印刷用データを作成し、印刷工場への発注・入稿ができる。</li> <li>・実例に則した課題を作成することにより、デザインによって『何かを伝えること』が効果的にできるようになる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Photoshop① 基本操作、選択範囲、画像の移動と変形
【前期】 5～8回目	Photoshop② カラーモードと色調補正、ペイント、レイヤー操作
【前期】 9～12回目	Photoshop③ 練習問題、パスとシェイプ、フィルター
【前期】 13～16回目	実践問題、実技問題
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	課題1 B5フライヤー印刷用データ作成
【後期】 24～27回目	課題2/3 スタンプカード/Tシャツ印刷用データ作成
【後期】 28～31回目	課題4 DVDジャケット一式印刷用データ作成
【後期】 32～35回目	課題5/6 部活フライヤー/DMフライヤー印刷用データ作成
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	イラストレーター、フォトショップを活用し、 デザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学びます 一緒にたくさんの作品を共に作り上げましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	CAD実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ 照明 / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験17年 大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめ、その後特許事務所のパテントエンジニアを経て現在のICT、CAD教育業務に携わる。 その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。				
授業概要					
<p>・1年次で学んだCADの基本操作を活かし、応用図面を作成していきます。 イベント系に関する図面だけではなく、一般的な幾何・機械及び分野別の図面も書けるようになります。</p>					
到達目標					
<p>・建築図面を書けるようになる ・ホール図面を書けるようになる</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	建築図面① 建具配置方法、図形登録・挿入・仕上げ
【前期】 5～8回目	建築図面② ①の課題提出、二線・平面、図形ダウンロード
【前期】 9～12回目	建築図面②作図
【前期】 13～16回目	建築図面②作図続き～課題提出
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	建築図面③作図
【後期】 24～27回目	建築図面③課題提出～建築図面④作図 方眼線の作成と活用
【後期】 28～31回目	建築図面④課題提出～幾何作成
【後期】 32～35回目	ホール図面作成
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	<p>・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</p>
学生へのメッセージ	<p>2年次には各課題を作成し、提出していく授業になります。 様々な図面を書けるようになるために勉強していきましょう。 必要な教室を借りて自習を行うなどしっかり理解できるようにしていきましょう。</p>
使用教科書	CADテキスト配布(1年次のものを流用)

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	イベント実習		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA / 照明 / ローディー / イベント制作 / PA&レコーディング / 照明&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:35年 サウンドスペースキャバに入社その後独立し、エンジンルームを設立する。 ライブハウス十三ファンダンゴのオープンより参加し、チーフPAオペレーターとして現在も活躍中。				
<b>授業概要</b>					
各担当制で土曜日の学内・学外イベントのスタッフを行う。 ※場合により、日曜・祝日のイベントスタッフを担当することもある。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの経験を重ね、スタッフ間でのコミュニケーション能力を養い、現場経験値を積むことができる。</li> <li>・仕込み～リハーサル～本番～撤収作業の流れを繰り返し行うことで、ライブスタッフとしての経験値を得る。</li> <li>・本番オペレート、転換、進行を行うことで、現場に強い人材になる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/ヴォーカル系コンテスト
【前期】 9～16回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/各外部イベント対応
【前期】 17～24回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/オペレート実習
【前期】 25～32回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/バンド系イベント
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/ヴォーカル系コンテスト
【後期】 47～54回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/オペレート実習
【後期】 55～62回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/バンド系コンテスト
【後期】 63～70回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/卒業制作イベント準備～本番
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10%</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	外部イベントや学内イベントのスタッフを通して、各コースの技術や経験を積むことだけでなくコミュニケーションをとりながらイベントを進行していくことの大切さを学んでいきます。 スタッフとしての経験を通して周りとの協調性も養っていきましょう。
使用教科書	なし。各イベントごとに資料を事前配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	アーティストデベロップメントⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	<b>■音楽芸能スタッフ科■</b> マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	実務経験:23年 インディーズバンド時代に自信のレーベルを立ち上げて以降、HIP HOPやLOUD ROCK BAND、ガールズグループなど多岐にわたるアーティストのプロデュースやマネジメント業務に従事する。各種イベント制作も行い、全国のLIVE HOUSEやCLUBで音楽イベントを展開しつつ、大規模ホールでの様々なフェスをサポートし続け、日本国内にあらゆるエンタテインメントコンテンツを提供している。				
授業概要	・アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶ事を目的とし、前半は座学、後半は外部折衝を中心に授業を実施、アーティスト選定～音源制作(レコーディング)～CDリリース～プロモーション(イベント制作含む)の業務を学ぶ。				
到達目標	・プロジェクト収支計算によるビジネス思考の定着。 ・外部折衝による積極性/自主性の育成。 ・チームビルディングの重要性の認知。 ・実務における基礎技術の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	グランドスケジュールの確認、レコード会社並びに音楽業界全体の各業務について
【前期】 9～16回目	音源選考、アーティスト面談
【前期】 17～24回目	マネジメント準備 チームビルディングの重要性理解
【前期】 25～32回目	チームビルディング、CDシングル2曲の選定、ジャケットデザインの方向性
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	プロモーション活動① ジャケットデザイン作業開始、CD店舗オーダーシートの作成
【後期】 47～54回目	プロモーション活動② CD店舗営業、MV映像制作打ち合わせ
【後期】 55～62回目	プロモーション活動③ 販促グッズの作成、MV活用方法
【後期】 63～70回目	プロモーション活動④ CD店舗インスタライブ調整
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶ事を目的とし、前半は座学、後半は外部折衝を中心に授業を実施、アーティスト選定～音源制作(レコーディング)～CDリリース～プロモーション(イベント制作含む)の業務を学んでいきます。楽しい一年にしましょう。
使用教科書	レコード会社の業務チャートや契約書の雛形など、カリキュラムに沿った自主制作教材の一部利用。

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	レコーディングオペレート実習		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	<b>■音楽芸能スタッフ科■</b> PA&レコーディング / レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 作曲・編曲からレコーディングまでマルチにこなすサウンドクリエイター。 作・編曲家としてはユニバーサルスタジオジャパンのショー音楽制作など、日本各地のテーマパークやイベントの楽曲制作に携わる。 レコーディングエンジニアとしても、テレビCMをはじめとして、多くの楽曲の録音やミックスを行っている。				
授業概要	・レコーディングを専攻しているクラスのみが受講する実践的な授業です。 前期は、おもに実作業を通じてチーフエンジニアとアシスタントエンジニアの分担を学び、それぞれのポジションでの役割を遂行できるよう練習します。 後期は、A～Dチームに分かれて卒業制作を行い、卒業制作のレコーディングによるアルバム制作を通して、レコーディングエンジニアとしての作業を一通り学び、コミュニケーションの取り方や録音・ミックス方法を学びます。				
到達目標	・チーフエンジニアとしての役割を学び実践的な練習により、音の良し悪し・演奏のミスやズレに注意を払えるレコーディングエンジニアになる。 ・アシスタントエンジニアとしての役割を学び実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進めることができる。				

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオ設備解説、ヴォーカル録音
【前期】 9～16回目	バンド録音① ドラム・ベース録音、ギター・ヴォーカルダビング
【前期】 17～24回目	バンド録音② ドラム・ベース録音、ギター・ヴォーカルダビング
【前期】 25～32回目	編集とミックス
【前期】 33～38回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 39～46回目	卒業制作レコーディング①
【後期】 47～54回目	卒業制作レコーディング②
【後期】 55～62回目	卒業制作レコーディング③
【後期】 63～70回目	卒業制作レコーディング④
【後期】 71～74回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	2年次では、作品が良くなるよう完成形のビジョンを持ってレコーディングを進めてもらいます。とくに、楽器や奏法の名称・音響基礎知識・基本的な楽典など1年次に学んだ知識は漏れなく把握しておく必要があります。 卒業制作では、講師の手助けを受けずに自分たちだけでレコーディングを進行していくこととなります。それを見据えたレコーディング方法を習得できるよう、授業に臨んでください。
使用教科書	なし。必要に応じてプリント配布



# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	ワードエクセル講座		授業形態 / 必選	講義	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	<b>■音楽芸能スタッフ科■</b> PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	実務経験17年。 大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめます。 特許事務所のパテントエンジニアを経た後、本格的に現在のICT、CAD教育業務に携わる。 その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。				
<b>授業概要</b>					
Word・Exceの使用方法を学び、効率の良いビジネス文書や書類の作成が出来る事を目指します。 また、PCに触れていない学生が多くいる為、利便性に長けている事を実感させ、苦手意識を無くしていきます。					
<b>到達目標</b>					
現在、ほとんどの仕事で必要となるWord・Excelの基本的な使用方法を習得することができます。 また、PCの基本的な操作方法も身につけることができるため、卒業後のビジネスシーンで役立てることができます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Word ① 文字入力の基本/漢字変換の方法/MSIME(日本語入力システム)の機能の理解/ビジネス文書の基本的な形式の理解
【前期】 5～8回目	Word ② ビジネス文書の基本的な形式の理解/書式設定の方法/段落の概念の理解/作成中の文書の保存
【前期】 9～12回目	Word ③ ビジネス文書を完成/書式の印刷/段組の設定/タブとリーダーの設定
【前期】 13～16回目	Word ④ 表の挿入/表の編集/画像の挿入/画像の編集/図形を描くことができる/テキストボックスの挿入
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	Excel ① Excelの構成の理解/データの入力手順/入力データの編集/演算記号や数式の入力
【後期】 24～27回目	Excel ② 相対参照と絶対参照の理解/罫線を使った表の作成/表示形式等の書式設定
【後期】 28～31回目	Excel ③ グラフの作成と書式設定/よく使われる関数(RANK.EQ・IF・TODAY・NOW・ROUND・VLOOKUP・COUNTIF・SUMIFなど)
【後期】 32～35回目	Excel ④ データベースの理解/並べ替え・抽出・自動集計・テーブルなどの作成/便利な機能の活用
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	PCの基礎知識から学んでいきますので、PCに触れたことがないという方も安心してください。 しっかり基礎からサポートし、PCを使えるようにしていきます。 また、Word・Excelはビジネスシーンにおいて必須のスキルとなりますので、一緒に楽しく勉強していきましょう
使用教科書	Word・Excelのパソコンソフト / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	デザイン講座		授業形態 / 必選	講義	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験:34年 主に電器・通信関係を中心とした販売促進用ツール(ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット)を作成。 また、パッケージ・広告・書籍のレイアウト・装丁などのほか、CDジャケット・ポスター・フライヤー・グッズ等の音楽関係の制作物も手がけるなど、幅広いデザインワークを手掛けている。				
<b>授業概要</b>					
デザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学んでいきます。 前期は、DTP業界の「事実上の標準ツール」となっているAdobe イラストレーターの基本的な操作方法の修得を目標に進行し、後期は、フォトタッチアプリケーションのAdobe フォトショップの操作方法も交えて、実際の制作物を例にした課題を作成していきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストレーター、フォトショップを活用し、デザインの基礎的な知識と技術を習得できます。</li> <li>・デザインによる効果的な表現の伝達ができるようになるとともに、実務的な印刷用データの作成ができるようになります。</li> <li>・自身の音楽活動の中で必要となるフライヤーやCDジャケットなどのデザインを自身で制作できるようになります</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	イラストレーター ① アプリケーションの概略の理解/環境設定/塗りと線/各属性の設定/オブジェクトの描画/
【前期】 5～8回目	イラストレーター ② 基本的な編集操作/オブジェクトの複製/パスの基本的な描画/パスの編集/カラー設定
【前期】 9～12回目	イラストレーター ③ レイヤーの使用による編集/ツール・メニューを使ったパスの変形・編集/オブジェクトの組み合わせによる編集
【前期】 13～16回目	イラストレーター ④ オリジナルのキャラクターの制作/文字関連の機能/文字の編集機能を使ったレイアウトとデザイン
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	フォトショップ フォトショップによる画像編集/ビットマップとベクターの違いを理解/RGBとCMYKの違いを理解/ファイル形式の変更
【後期】 24～27回目	練習課題「ランチメニュー」の制作 イラストレーターとフォトショップを使って指示通りの形式データの作成/効果的に情報伝達のできるデザインの実践
【後期】 28～31回目	練習課題「ライナーノーツ」の制作 文字の編集/指示通りの形式の印刷用原稿データの完成/効果的に情報伝達のできるデザインの実践
【後期】 32～35回目	練習課題「CDジャケット」の制作 写真・画像・文字を使った総合的なデザインと印刷用データの完成
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	皆さんが町中で見えるフライヤー・ポスター・Tシャツなどのデザイン物はイラストレーターやフォトショップといったソフトウェアを使ってデザインされています。 これらのソフトウェアの使用方法和デザインの基本を学んで、自分だけのデザインを作れるようマスターしましょう。
使用教科書	Illustrator・Photoshopのソフトウェア / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	日本のロック史講座		授業形態 / 必選	講義	選択		
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目			
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位		
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■	非該当	□
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大手芸能プロダクションにて、マネジメント・イベント・CMなどに携わる。 役員としてプロダクション経営を学び、独立。 株式会社アワーズ代表取締役。マネジメント・コンテンツ制作・イベントを手掛ける。						
<b>授業概要</b>							
日本のロックに重点を置いたポピュラーミュージックの歴史について学んでいきます。 日頃私達が触れている様々な音楽がどのように形成されたのか? 時代的な変化がどの用意して起こったのか? などを見つめ今後の音楽シーンについての考察を行います。							
<b>到達目標</b>							
・過去の豊かな音楽遺産を発見することができます。 ・多くの音楽に触れることで音楽的な知識が増えるので、自身の音楽活動や音楽制作に反映させることができる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	1950年代～60年代初期 日本のロックの黎明期 ウエスタンカーニバル/ベンチャーズの登場/エレキ・インスト・ロックの大流行
【前期】 5～8回目	1960年代中期～後期 グループサウンズの時代 ビートルの来日/グループサウンズの大流行/タイガース・テンプターズ・スパイダース・ブルーコメッツ
【前期】 9～12回目	1970年代初期～中期 日本のロックの誕生 フォークソングの台頭/日本のロック元年/ジャックス・フォークルセイダース
【前期】 13～16回目	1970年代中期～後期 ニューミュージックの誕生と日本のロックの多様化 はっぴいえんど/フラワートラベリングバンド/村八分/カルメン・マキ&OZ/ダウンタウン・ブギウギ・バンド/サザン・オールスターズ
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	1980年代後期～1980年代中期 テクノポップ・パンク・ニューウェーブ時代の到来 YMO/プラスチック/東京ロッカーズ/RCサクセション/アースシェイカー/BOOWY/インディーズレーベルの誕生
【後期】 24～27回目	1980年代中期～後期 バンドブーム(イカ天・ホコ天) ブルーハーツ/ストリート・スライダース/ユニコーン/ X /スチャダラパー/電気グルーブ/プリンセス・プリンセス/B'z
【後期】 28～31回目	1990年代 渋谷系～マーケティング・ポップの時代 フリッパーズギター/ピチカートV /Mr.Children/スピッツ/シャ乱Q/GRAY/L'Arc en Ciel/
【後期】 32～35回目	2000年代 Hi-STANDARD/くるり/モンゴル800/サンボマスター/多人数アイドルグループの時代/K-POP
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	現在の音楽シーンは急にボンとできたわけではありません。 過去の偉大な音楽家達が切り開いてきた道の、延長線上に現在の音楽シーンが成り立っているわけです。 この過程を振り返ることで、新たな音楽シーンの創造の一助としてください。
使用教科書	授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	DTM講座		授業形態 / 必選	講義	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1989年自身のバンド「テラローザ」でキングレコードよりデビュー。6枚のアルバムを発表</li> <li>・セッションキーボーディストとして、多数のライブやレコーディングに参加。</li> <li>・PCゲーム「イース3」「Bloody Chronicle」等のサウンドトラック作曲</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
ProToolsを使用して、譜面をMIDI入力することにより、各ジャンルのリズムやアレンジの特徴を理解していきます。また、後期からはストリングスやブラスを使用したオーケストラ・アレンジの基本を理解し、様々なカテゴリーのサウンドトラックや劇中伴奏にも対応できる知識を獲得していきます。					
<b>到達目標</b>					
PCによる楽曲制作が出来るようになるとともに、ポピュラーミュージックとオーケストラのアレンジを理解することができます。また、MIDIデータの入力技術のアップにより、完成した楽曲のクオリティが格段に進化します。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (Motown/Funk/Philly Soul)
【前期】 5～8回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (Black Contemporary/80～90th Ballad/New Jack Swing)
【前期】 9～12回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (HipHop/House/Techno/Euro Beat)
【前期】 13～16回目	Drum譜の聴き取りと書き取り/ジャンル別の譜面入力・フレーズ研究 (現代のHipHop・R&B・Pops)
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	ストリングスの課題アレンジ① ストリングスの音域・編成・奏法と音色/ストリングスの打ち込みの基本
【後期】 24～27回目	ストリングスの課題アレンジ② スタッカート/駆け上がりフレーズ/トリル/ピチカートなどの奏法別の入力方法と特徴の理解
【後期】 28～31回目	ブラスの課題アレンジ 金管・木管各楽器の構造・奏法・音色と、ブラスの基本アレンジの理解
【後期】 32～35回目	オーケストラ課題曲「くるみ割り人形-葦笛の踊り」の譜面入力 各パートの楽器の特徴と役割を理解
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次に学んだDTMスキルをより高度に発展させる授業です。ポピュラーミュージックの各ジャンルやオーケストレーションについても学んでいくので、演奏の幅やアレンジの幅が広がっていくことになります。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	上級専門実技		授業形態 / 必選	講義	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴:33年 有限会社T-SPEC代表取締役。コンサート・イベント・芝居等の音響で国内はもとより海外での音響経験も多数。早くからデジタルミキサー、ラインアレイスピーカーを取り入れ、最新のテクノロジーから古きアナログまで幅広い知識と経験で音響を行っている。最近では音響オペレーターのみならず、デジタルネットワークのプランニングなども始め、2014年より、年末に開催されている“MUSIC STATION SUPER LIVE”では DANTEオーディオネットワークのサポートを手掛けている。				
<b>授業概要</b>					
音響システムの概要について学び、どのようなしくみになっているのを理解します。 音響機器の個々の理解とその組み合わせによる音響システム構築を学ぶことで、近年使用されているシステムやネットワークに対応できる人材を育てます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>音響システムの個々の使い方と組み合わせた時の使用方法について理解ができ、音響システムプランが組めるようになる。</li> <li>音響機器の細かな設定・操作が出来るようになる。</li> <li>音についての基本理論がどのような聞こえ方をするか、音響現場(PA)ではどう利用されているかを理解し説明できるようになる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	YAMAHA/M7CL, QL5の操作 基本操作と各コンソールの違い
【前期】 5～8回目	ハース効果、デジタルミキサーパッチ方法
【前期】 9～12回目	スピーカーの基本、バイアンプ・トライアンプ駆動 仕組み、分解、ネットワークの理解
【前期】 13～16回目	システムルーティング、パッシブ、マルチアンプ
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	PAプランニング 小型・ヴォーカルコンテストライブのプランニング
【後期】 24～27回目	チューニング、無線LANのリモートコントロール
【後期】 28～31回目	スピーカーメンテナンス メイン・モニター
【後期】 32～35回目	ミキサー機能 カスタムフェーダー・ユーザーディファインドキー、チャンネルジョブ設定
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	デジタル卓の使い方を学び、接続方法やそれぞれの催しものに合わせたシステム構築を行います。 ネットワーク論と同じく近年の現場では必要な知識や技術を学びますので、しっかり覚えていきましょう！
使用教科書	プリントにて配布・ホワイトボードにて説明

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	分野別初級実技		授業形態 / 必選	演習	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	<b>■音楽芸能スタッフ科■</b> PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師実務経歴	実務経験:23年 インディーズバンド時代に自信のレーベルを立ち上げて以降、HIP HOPやLOUD ROCK BAND、ガールズグループなど多岐にわたるアーティストのプロデュースやマネジメント業務に従事する。各種イベント制作も行き、全国のLIVE HOUSEやCLUBで音楽イベントを展開しつつ、大規模ホールでの様々なフェスをサポートし続け、日本国内にあらゆるエンタテインメントコンテンツを提供している。				
<b>授業概要</b>					
音楽活動に必要なライブ・音源制作・プロモーション・マーケティングについての知識を学んでいく授業となります。ここで学ぶ知識や技術は、音楽活動のみでなく、いろいろな方面で役立っていくものとなります。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽業界で必要とされるマネジメント知識とスキルを身につけることができます。</li> <li>・アーティストの音楽活動をデザインし、どのような活動を行っていくかをプランニングすることができます。</li> <li>・プロモーションに必要な、デザインやHP運営、MV制作などを、ある程度自身で行うことができるようになります。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	セルフマネジメントとは/音楽活動を始めるためのプロフィール作成(自己PR作成・写真撮影とデータ化)【プロフィールの提出】
【前期】 5～8回目	音楽で収入を得る方法/音楽活動のプロモーション/ロゴ制作【ロゴの提出】
【前期】 9～12回目	ライブの実践についてのノウハウ/自主企画イベントのための準備/企画書の書き方とイベントプランニング【企画書の提出】
【前期】 13～16回目	イベントに必要な書類作成/フライヤー制作(フォトショップを使ったデザイン)/印刷用データの作成方法【フライヤーデータの提出】
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	音源を売る方法/音源制作プランニング/レコーディングスタジオ調査/企画書と収支プランの作成【企画書の提出】
【後期】 24～27回目	CDジャケットデザイン/イラストレーターとフォトショップを使った総合的なデザイン/印刷用データの作成【ジャケットデータの提出】
【後期】 28～31回目	HP作成 素材集め/プロモーションを意識したデザイン/掲載する情報の見せ方/HPのアップ【HP URLの提出】
【後期】 32～35回目	プロモーションのためのMV作成/内容と絵コンテの作成/撮影～編集/Youtubeへのアップ【Youtube URLの提出】
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	音楽活動を行うためのノウハウが詰め込まれた授業になります。 授業内での提出物や平常点も評価の対象になりますので、しっかりと授業に参加することを心がけてください。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	分野別上級実技		授業形態 / 必選	演習 選択	
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	<b>■音楽芸能スタッフ科■</b> PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験33年 株式会社TOP GEAR代表取締役。 関西を中心にライブハウス等での経験を活かし、Anthony Jackson、Victor Wooten、長瀬剛等のツアーに参加。 数々の夏フェスやRADIO CRAZY等にもスタッフ参加。				
<b>授業概要</b>					
基本的にライブハウスやスタジオではたけるようになるための技術を身につけるための授業です。 楽器のセッティングからPA機材のセッティング方法、ミキサーの使い方からステージ転換など、実践的な内容になっています。					
<b>到達目標</b>					
・PAの基本的技術や各機材の役割・作業手順を習得していくため、ライブハウスやスタジオで働くための技術が身に付きます。 ・ミュージシャン・スタッフ、それぞれの立場を理解することで、現場においてコミュニケーションを意識した、円滑な作業を行えるようになります。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホール機材の解説/ケーブルの巻き方/スタンドの立て方/マイクの種類と名称/回線表の読み方/バンドセットの仕込み
【前期】 5～8回目	モニタースピーカの解説/PAミキサーの使い方/ミキサーのレベルの取り方/PreとPostの解説/アウトとインプットチェックの方法
【前期】 9～12回目	PAミキサーの仕込み方/インプットとアウトプットのパッチ/プロセッサーとバイアンプ方式の解説/エフェクターの接続
【前期】 13～16回目	ステージ及びミキサー周りのバンドセットの仕込み実践/GEQの使い方/スピーカーチューニングのやり方
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	PAミキサーの発展した使用方法/MATRIX・GROUPの解説とパッチの方法
【後期】 24～27回目	ステージサイドの仕込みの応用/各楽器へのマイキングの解説/モニターミキサーの使用方法和アウトのチェック
【後期】 28～31回目	モニター分岐した場合のバンドセット仕込み/ハウスとモニターの連携/モニターミキサーを含めたインプットとアウトプットのチェック
【後期】 32～35回目	バンドセットの転換シミュレーション/回線チェックとモニタープランニング/各スピーカーチューニング
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ステージや音響スタッフとしての基礎的な知識と技術を習得することができます。 また、チームとしての動きやコミュニケーションなど、実際の現場で重要になってくる要素も身につけることができます。 基礎から学んで、就職などに活用してください。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を1回目の授業で配布

# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	演奏/歌唱実技		授業形態 / 必選	演習	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年木村充揮を父に持つ木村俊章とロックバンド「BAHARANA」結成。</li> <li>・ジョニー吉長、内田勘太郎、寺岡呼人等大御所ミュージシャン・バンドと共演を重ねる。</li> <li>・2012年6月バンド活動休止後は、ソロアーティストとして活動中。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>【歌唱】ヴォイストレーニングで培った技術を、実際の歌唱に活かせるようにアプローチする授業です。 この授業を通して、チェストヴォイス～ミドルヴォイス～ヘッドヴォイスをスムーズに繋げることが目標です。</p> <p>【演奏】課題曲を使って楽曲のアナライズを行うことで、コード・スケール・リズムなどの楽曲の構造を理解します。 また、様々なリズムに対応することで、基礎的な技術からより高度な技術まで幅広い技術の体得を目指します。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>【歌唱】楽曲の中で、母音・子音の変化するスピードに対応できるようになり、歌唱技術と表現力が大幅にアップします。 また、新しいスケールである、ブロークンスケール・5TONEを使用することで、より密接に歌唱と連動させることができます。</p> <p>【演奏】課題曲毎にスケール・リズム考察を行うので、自身の音楽活動における作曲・アドリブプレイに応用出来るようになります。 また、多様なリズムパターンについてレッスンのため、アレンジやプレイにおけるリズムアプローチが多彩になります。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】1オクターブ(ブロークンスケール)・5TONEスケールのトレーニング 【演奏】スケール・エクササイズ(メジャー・ナチュラルマイナー・ペンタニック)/課題曲①スローブルース
【前期】 5～8回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、広い母音(ア・オ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケール・エクササイズ/課題曲②スカ・レゲエのリズム
【前期】 9～12回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、狭い母音(イ・エ・ウ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケールを適用したフレーズ作成/課題曲③④ボサノヴァ・サンバのリズム
【前期】 13～16回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、課題曲を使用した母音トレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/ハーモニクス の原理と奏法/課題曲⑤ファンク
【前期】 17～19回目	【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、全ての母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑥ファンクビートの発展
【後期】 24～27回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、子音・母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑦16beatのソウルナンバー
【後期】 28～31回目	【歌唱】苦手な子音・母音・音域を分析し、個々にあった対応トレーニングの実践 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/16分音符・3音連符のオスティナートによるリズムエクササイズ
【後期】 32～35回目	【歌唱】長時間の声帯閉鎖・喉頭の正しい位置の持続させ、持久力を獲得するためのトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/5拍子・変拍子のリズムエクササイズ
【後期】 36～37回目	【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10%</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	現代ではJ-Popやアニソンにおいても、音楽理論上高度なテクニックが数多く使用されています。 課題に対する技術的な難易度は上がりますが、じっくりと取り組んで技術をものにしていきたいと思います。 また、様々なリズムパターンに取り組むため、普段から幅広くいろんなジャンルの音楽を聴くように心がけましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布



# 専門学校ESPエンタテインメント大阪

授業科目名	ヘアメイク実習		授業形態 / 必選	演習	選択
			年次	2年次 ※半期ごとの選択科目	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / 照明&PA / ローディー / イベント制作 / マネージャー・レコードメーカー / ファンクラブ・デザイン / ヘアメイクアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 美容学校卒業後、ヘアメイク事務所へ所属。 現在はフリーランスへ転向し、テレビ・CM・ショー・アイドル系・ヴィジュアル系アーティスト等、 全国でマルチに請け負う。				
<b>授業概要</b>					
メイクアーティストとして必要な基礎知識～応用技術を学びます。 また、現場対応力を育てる為に接客スキル様々なmake.upに対応できるよう、授業を行っていきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘア / メイク時でのコミュニケーションやマナーの大切さを学ぶ</li> <li>ヘア / メイクに必要な用具名称から使用方法を学び、実技に繋げる。</li> <li>様々なジャンルのヘアメイクを手掛けれれるよう、実践を積み重ねる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	メイク時の接客、言葉づかい、マナーの大切さを学ぶ(実践へ向けて)
【前期】 5～8回目	自身で課題を考え、また自身でイメージ(キュート、カジュアル、クール、セクシー)を作れるようになる
【前期】 9～12回目	イメージメイク理論、実践、様々なメイクのイメージの違いを理解し実践
【前期】 13～16回目	イメージメイクを実践 タイム意識強化、メイクイメージに合う、反復練習
【前期】 17～19回目	前期テスト対策～前期テスト実施・答え合わせ
【後期】 20～23回目	前期で習得した技術でメイク+ヘアセットもあわせてイメージ作り 外部モデルをしようし実践、タイムトライアル(レディース)
【後期】 24～27回目	メンズヘア・メイク理論 外部モデルでの実践、タイムトライアル(メンズ)ナチュラル
【後期】 28～31回目	外部モデルでの実践、舞台、ライブ、ハロウィンメイク ゲイン場対応能力の育成
【後期】 32～35回目	テーマ、シーンを設定しそれに沿ってイメージヘアメイク / ヘアアレンジ強化 / イメージメイク強化
【後期】 36～37回目	後期テスト対策～後期テスト実施・答え合わせ
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ヘアメイクアーティストは最高のパフォーマンスが 求められる、難しくもあり、最高にやりがいも感じられるお仕事だと思います。 夢に向かって頑張りましょう！！
使用教科書	なし。必要に応じてプリント配布